

江戸川区 一之江名主屋敷



古民家情報

建築年代: 安永年間(1772~1780)
規模: (主屋部) 桁行10.2間・梁間5.5間
 (土間部) 桁行 6.2間・梁間3.5間
構造: 食違い四つ間取りに
 接客部を加えた寄棟造り
 (土間部入母屋造り)・茅葺き
東京都指定史跡・江戸川区登録史跡

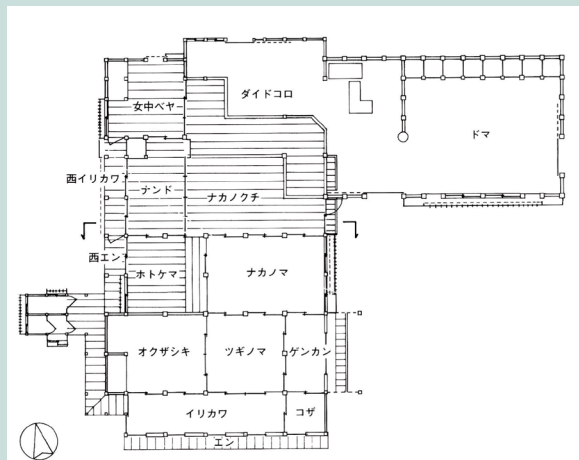
一之江名主屋敷は、江戸時代のはじめに一之江新田を開発した
 田島家の住居です。現在地に創建されたままの姿を伝えています。
 北と西に屋敷林(防風林)をもち、堀をめぐらした中世武家風の
 面影をそなえた屋敷構えです。平成元年(1989)から同4年(1992)
 にかけて建物の復元修理を行い、平成10年(1998)から同11年
 (1999)にかけて敷地を整備しました。

現在の主屋は、安永年間(1772~1780)、7代目当主喜右衛
 門のときに建てられたものです。主屋は、座敷・板の間・土間の
 合計 276 m² (約 84 坪) の曲がり家です。玄関に式台を備えた名
 主の格式を伝えています。

ご利用案内・アクセス

- 開** 10:00 ~ 16:00 (月曜日休館・月曜日祝日の場合は開館)
料 入館料 100 円 (中学生以下無料)
所 江戸川区春江町 2-21-20 **交** JR総武線「小岩」駅・地下鉄東西線「葛西」駅から
 京成バス(小76)「名主屋敷」下車徒歩1分、都営新宿線「端江」駅下車徒歩14分
問 江戸川区教育委員会教育推進課文化財係 Tel.03-5662-7176 Fax.03-3653-5251

その1! 間取り



見どころポイント!

主屋は東に突出部を持つ曲がり家です。「オクザシキ」・「ツギノマ」・「ゲンカン」・「コザ」に「イリカワ」を加えた南半部は、名主を務めているときの公用の場所でした。漆喰壁と板戸によって、生活

空間と分けられています。北半部は、畳敷きの「ナカノマ」のほかは板の間です。現代住宅の居間にあたる「イタノマ」には囲炉裏がしつらえられています。「ダイドコロ」は土間で、作業場や穀物を保管していた「マス」のある「ドマ」との境に大黒柱があります。「ドマ」の天井は踏み板天井で、2階部分は物の収納や水害時の避難場所になりました。非常用の舟もここにあります。

その2! 長屋門



武家屋敷のような立派な長屋門です。建立年代は技術的にみて主屋と同じ江戸時代後期頃と推定されます。(2014年撮影)

その3! 敷地概観

この屋敷は江戸時代から移動していません。林が覆う北西部には屋敷神が祀られています。

